

6 国有林野の事業運営

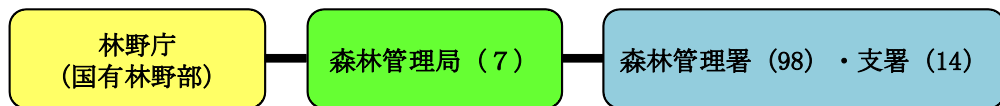
6 国有林野の事業運営

国有林野事業は、ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署の下、一般会計への移行を踏まえ、公益重視の管理経営の一層の推進や森林・林業再生への貢献等に対応した組織とし、また、民間事業者に委託できる事業は基本的に委託するとともに、情報システムの活用等に取り組み、効率的な管理経営に努めています。

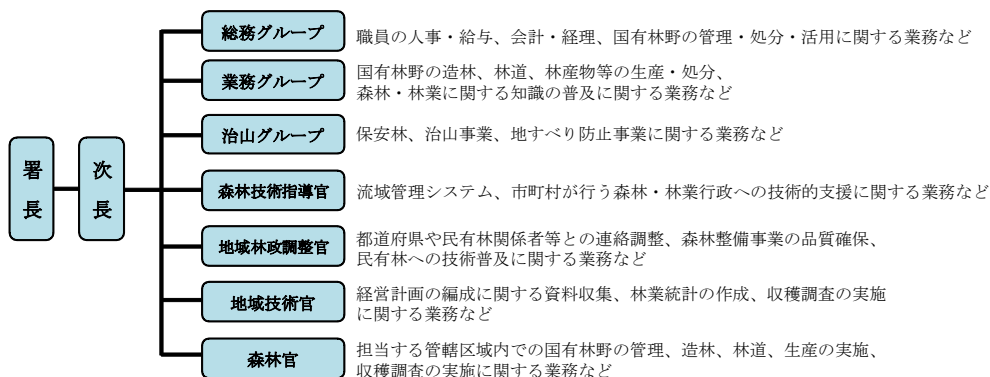
(1) 民間委託の推進

特に、伐採、造林等の実施行為については、民間事業者への委託化を基本としており、平成25年度は、伐採（素材生産）の全てに加え、植栽や保育についても、その全てを民間委託により実施しました。

図－7 国有林野事業の管理経営の実施体制



図－8 森林管理署の事業実施体制（代表森林管理署のイメージ）

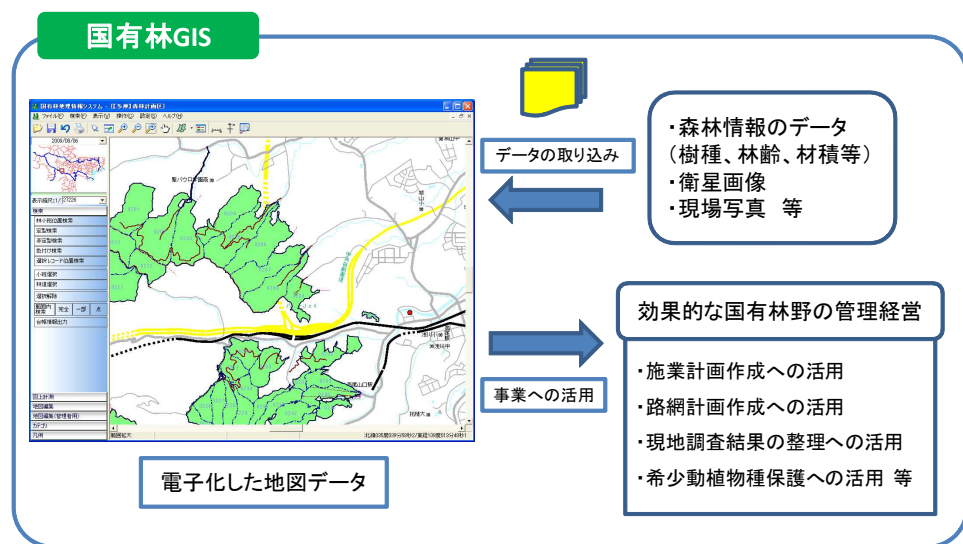


(2) 情報システムの活用

平成25年度は、事務処理の効率化を図るため、国有林野情報管理システム等の安定的な稼働や、機能の充実、ネットワークを通じた円滑な情報の伝達等に努めました。

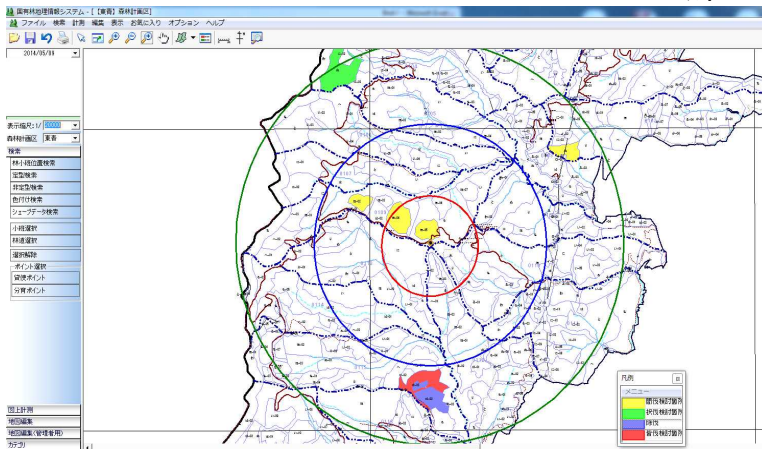
また、国有林GIS^{*}を活用し、施業計画の作成とともに、森林施業や路網整備、災害調査等の様々な事業の効果的・効率的な実行に取り組んでいます。

図－9 国有林GISの活用



【活用事例 1】猛禽類営巣地に配慮した施業計画の検討

(東北森林管理局)



説明：図の円は、猛禽営巣地から施業計画地の距離を示しており、森林施業の実施を検討する際に活用するものです。
(図中の営巣地（中心点）は架空の場所です。)

【活用事例 2】林道設計における路線の検討（四国森林管理局）



説明：GIS上で衛星写真と等高線、既存林道の位置（赤線）を重ねて表示し、林道の新設するための現地踏査に向け、候補となる路線の線形（緑線）を検討したものです。

(3) 計画的かつ効率的な事業の実行

国有林野の管理経営に当たっては、適切な森林整備を通じた収穫量の計画的な確保や、コスト縮減等による計画的かつ効率的な事業の実行に努めています。

国有林野事業特別会計に属していた債務については、一般会計への移行に伴い設置された国有林野事業債務管理特別会計に承継し、林産物収入等により返済することとされており、平成25年度は62億円の返済を行いました。

(4) 安全・健康管理対策の推進

平成25年度の職員の災害の発生件数は、平成24年度と比べて増加しています。

引き続き、重大災害の根絶はもとより、災害の未然防止に向けた取組を推進するとともに、心の健康づくり対策にも力を入れるなど、職員の安全確保と心身両面にわたる健康づくりを進めています。

表－１９ 国有林野事業の債務返済状況

(単位：億円)

	平成25年度	(参考) 平成24年度
債務返済額	62	41

注：金額は四捨五入した数値である。

表－２０ 林産物等販売の状況

(単位：万m³、億円)

区 分	平成25年度		(参考) 平成24年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入	-	232	-	207
立木販売	227	25	175	23
素材販売	250	206	236	182
その他	-	1	-	1

- 注：1 数量は、立木販売は立木材積で示し、素材販売は素材（丸太）材積で示している。
 2 その他は、雑収である。
 3 立木販売の数量には、分収林等の民収分（H25：116万m³、H24：83万m³）を含む。
 4 立木販売の金額には、立木販売のほかに環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等を含む。
 5 計の不一致は、四捨五入による。

表－２１ 職員の災害の発生状況

(単位：件)

区 分	災 害 発 生 件 数			
	死亡	重傷	軽傷	合計
平成25年度	1(3)	17(44)	21(54)	39(100)
(参考) 平成24年度	0(0)	14(38)	23(62)	37(100)
(参考) 平成23年度	0(0)	13(43)	17(57)	30(100)

- 注：1 重傷は、休業日数8日以上を負傷である。
 2 ()書は、合計に占める負傷の程度別の比率(%)である。
 3 計の不一致は、四捨五入による。



日本百名山の一つとして親しまれる「谷川岳」^{たにがわだけ}（関東森林管理局）